

水 ing、間接費管理基盤として SAP Concur を採用

～デジタル化を通じたグループ全体のガバナンス強化、業務改革を実現～

出張・経費管理クラウドのリーダーである株式会社コンカー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：三村 真宗、以下 コンカー）は、水 ing 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大汐 信光、以下 水 ing）のグループ間接費管理基盤として SAP Concur が採用されたことを発表いたします。

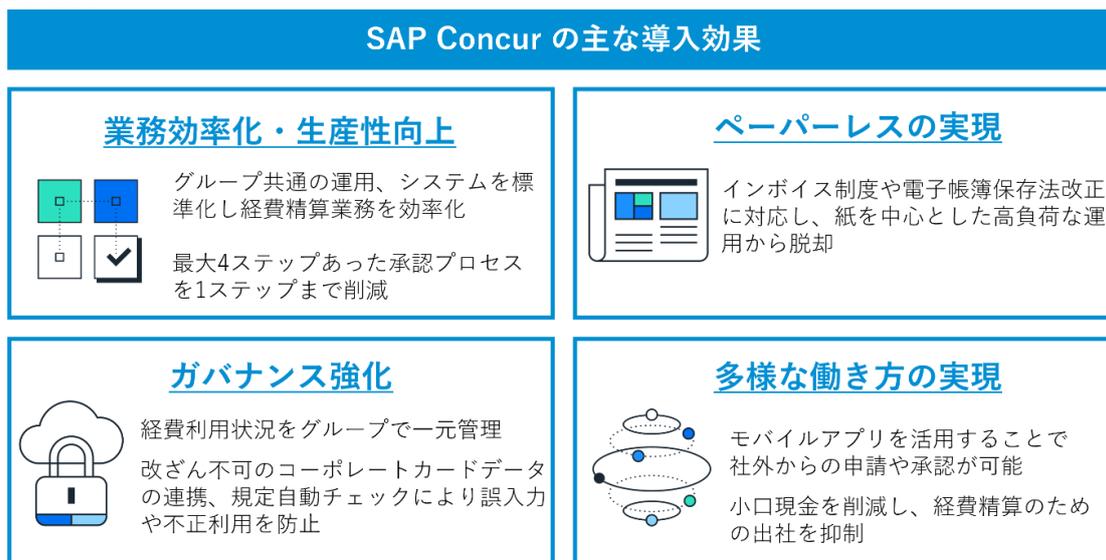
現在、在宅勤務をはじめとする従業員の多様な働き方を実現し、従業員個々の生産性向上に繋げ、企業競争力を高めるべく、多くの企業が間接費に関わる業務の見直し、デジタル化を通じて業務改革に取り組んでいます。

「生命の源である『水』を通じていつまでも社会に貢献し続ける」を企業理念に掲げる水 ing は、水道・下水道を中心とした公共性の高い市場で事業を展開しています。ステークホルダーのさらなる信頼獲得のためガバナンス強化を推進しており、その一環として業務プロセスや IT システムを一体的に見直し社員一人一人のパフォーマンス向上を目指しています。

SAP Concur の導入により、グループ全体の業務プロセスが標準化され、限られたリソースを最大限に活用することが出来るようになりました。そして、本導入を機に三井住友カードのコーポレートカードも採用しました。コーポレートカードとパーチェシングカードを初めとしたキャッシュレス決済データの連携機能、システムによる自動監査チェック、外部監査サービスを活用することで、以前は最大 4 ステップあった承認プロセスが 1 ステップまで削減し業務効率化とガバナンス強化の両方の実現が可能となります。

本導入はグループ 3 社全体の利用となり、2023 年 10 月に執務系従業員 1,500 名が利用を開始しており、2024 年 1 月にはフィールドエンジニア系の従業員 3,000 名が利用を開始します。今後は SAP Concur に蓄積されたデータを活用した継続的な運用改善、交通系 IC カードの自動連携機能の利用等、更なる効率化を図り、従業員の生産性向上を進めます。

<主な導入効果>



<主な導入製品>

- ・経費精算・管理クラウド「Concur Expense」
- ・請求書管理クラウド「Concur Invoice」
- ・領収書 OCR アプリ「Expenselt」
- ・経費精算の承認業務をサポートする「Intelligent Audit」

他

■株式会社コンカーについて

世界最大の出張・経費管理クラウド SAP Concur の日本法人で、2010年10月に設立されました。

『Concur Expense（経費精算・経費管理）』・『Concur Travel（出張管理）』・『Concur Invoice（請求書管理）』を中心に企業の間接費管理の高度化と従業員の働き方改革を支援するクラウドサービス群を提供しています。

コンカーの詳細については www.concur.co.jp をご覧ください。

■SAP Concur について

SAP Concur は、出張、経費、請求書管理を統合したソリューションを提供する世界有数のブランドであり、これらのプロセスの簡素化と自動化を追求しています。高い評価を得ている SAP Concur のモバイルアプリは、社員の出張をサポートし、経費を自動で入力し、請求書の承認を自動化します。AI を使いリアルタイムのデータを統合、分析することで、効率的な支出管理を行うことが可能です。SAP Concur のソリューションは、手間の掛かる作業をなくし、お客様の業務効率化に貢献、最高の状態でビジネスを進めることができるようサポートします。詳細は concur.com または SAP Concur ブログをご覧ください。

SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

© 2023 SAP SE または SAP 関連会社。無断複写・転載を禁じます。この資料に関する使用条件、免責条項、開示、または制限については、www.sap.com/legal-notice の法的通知を参照してください。